

会員のひろば

■ 仕事ができることに感謝

桜が丘一丁目 田中 勝己

シルバー人材センターにお世話になって10数年あまり、以前のようなバイタリティーはないにしろ元気な証として楽しく作業をしています。

いつぞやの新聞紙上で見かけたのですが

“人とは動かないと生きている楽しさがわからない。

動くことでその楽しさが倍増するもの”と。

おのれ自身はじっとしていない性格がして、その文章を読んだ時、思わずウンウンとうなずいたものです。

78歳の仕事仲間7人、言いたいこともズバズバ言いお互いに切磋琢磨しながら作業をしているものの休憩また昼食後の話題はもっぱら我が身の体・病気のことが多くなります。病を克服した人、はたまた現状維持ながら精を出し作業をしている人。だがそんな話題から元気づけられたり、また元気づけたりと得も言われぬ安堵感に浸ることが多くなったのも現実です。

あとどのくらいシルバー人材センターでの仕事ができるかなーと気持ちの中で思い描くものの、いやいや、まだまだの思いは仲間も同じだろうと思う。

年数回の同窓会？さながらの作業舞台をこれからも元気でかつ楽しく仕事ができることに感謝しながらがんばりたいと思っています。



■ 美化健康タイム

桜が丘三丁目 沖本 満雄

今回原稿の依頼を受けてどんな手記を書いたらよいか、いろいろ迷いましたが、とりあえず現在の就業についてお話をしたいとおもいます。私の職場は祝園東西連絡通路の清掃作業と桜が丘四丁目のポスティング（華創、府民だより、その他）を担当しています。

ポスティングについては最初の頃は簡単だと思いポストに投函していると、これがあとで気が付くのですがポストに入れたか入れなかったかわからなくなって困ったことがある。例えば郵便物には住所と宛名があり確実に投函できるが、宛名のない配布物の投函は一応入れたつもりでもあとで確認してみると数軒分が手元に残り、入れていないことがありました。今はそのようなことはなく決まったルートでほぼ確実に投函しています。

私にとってこのお仕事は非常に有難く思う。何故ならウォーキングをしながらのポスティングは健康増進にもつながり、またボケ防止にも役立ち、とても充実した時間となっている。季節によって特に夏場は苦手で、冬が早く来ないかといつも思っています。

清掃作業についてもポスティングと同じで、地区の方からお礼の言葉をいただき、非常にありがたい思い励みになります。東西連絡通路には階段が7ヶ所あり、連絡通路も長く東西にはタクシーとバス・ロータリーがあります。いくつかの階段の上り下りをしながら作業をしていると足腰が鍛えられるので非常に良く、それと冬季は雑草や蜘蛛の巣はあまりなく、夏季になると多くなり大変ですが苦になりません。地区の美化活動に携わって作業をしていることに責任感を持ちつつ、私自身がゴミや汚れや雑草などを見つけると気になりすぐに除去したい性格なので、これがまた仕事と私生活どちらに対しても充実した時間となりとても満足しています。

シルバー人材センターさんに入会したのは平成30年3月です。動機は家でゴロゴロするよりも外に出て社会貢献ができてまた健康維持のために、これからも体力が許す限り続けて行こうと思っています。

